『ミズベリング三条』利活用プロジェクト事業

特定非営利活動法人　ＮＰＯさんじょう

１．はじめに

平成２８年９月１６日、三条防災ステーション周辺を中心とした信濃川沿いの水辺空間が都市・地域再生等利用区域（名称：ミズベリング三条）の指定を受けることとなり、三条市で区域指定書の交付式が催された。指定により、公的主体や民間事業者による飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、照明、船上食事施設など営業活動が可能となる。区域指定は県内で５地域目。国土交通省直轄では、新潟市のやすらぎ堤に次いで２地域目となった。

ここは水辺空間を創出する「かわまちづくり事業」と、水防活動や復旧活動の拠点を整備する「三条防災ステーション事業」を組み合わせて、三条市と信濃川下流河川事務所とが連携して整備したエリアである。

「三条防災ステーション・交流広場」は三条市が趣味やスポーツが楽しめる場として整備し、緑地と駐車場あわせて、約 40,000㎡ の広さがあり、普通車約 450 台分の駐車スペースを確保しており、市民の憩いの場・交流の場として利用されている。ここで開催される大きなイベントとしては「三条凧合戦」や三条夏まつり「大花火大会」などがある。

また、信濃川下流河川事務所では、洪水被害を最小限に防ぐために、迅速かつ円滑な水防・復旧活動が行えるよう整備した土砂や根堅ブロック等の資材を備蓄するとともに災害対策車輌庫等を配置している。

今回の区域指定を受け、平成２９年度はこのエリア（ミズベリング三条）の機能として、親しみやすい水辺空間にもなる広大な河川区域を単なる防災の観点だけでなく、制度を利用して県央地域の振興やにぎわいの創出に役立てる親水の観点での利活用が期待されている。

そこで、このエリアの指定管理業務を担っている特定非営利活動法人ＮＰＯさんじょう（ＪＶリオパルクさんじょう）では、国土交通省北陸地方整備局や三条市など関係機関と連携し、イベントやソフト事業に取り組み、県央地域の交流と経済、観光の促進を担う一翼としての活動が期待されているところである。

２．実施内容

このエリアの利活用モデルとして、以下の事業に取り組んだ。

Ｉ＜ミズベリング三条フェス＞

三条防災ステーション・交流広場を会場に、水辺カヌー・Ｅボート体験会、親子野外クッキング、水防デイキャンプ、水辺のいきもの観察会、水辺のオリエンテーリングなどのソフト事業を５回実施。

月 日	イベント名	時間	場所	大人	子ども	計	組
8月20日	水辺カヌー・Eボート体験会	10:00～12:00	船着き場	12	14	26	10
8月27日	親子野外クッキング	10:00～13:00	水防学習館前	5	7	12	4
9月17日	水防デイキャンプ	10:00～13:00	交流広場・水防学習館前	12	15	24	9
10月8日	水辺のいきもの観察会	10:00～13:00	交流広場・水防学習館前	11	14	25	10
11月3日	水辺のオリエンテーリング	10:00～13:00	交流広場	7	9	16	5

上記イベントでは、参加者アンケートを収集・分析し、次年度の取り組みに活かす。

◆水辺カヌー・E ボート体験会

講　師：日本カヌー協会

内　容：オールの持ち方と漕ぎ方を習い、声を出しながら息をそろえ川を自由に行きかいました。

◆親子野外クッキング

内　容：用意された食材を見てからメニューを決めバーベキュー資材を利用して親子で協力し調理をしました。

◆水防デイキャンプ

内容：土嚢積み体験・土嚢を使った簡易プールで水遊び
　　非常食クッキング

◆水辺のいきもの観察会

講師：自然観察指導員　岩崎 武

内容：水防学習館から防災ステーションの中を
　　散策し野草や昆虫について学びました。

◆水辺オリエンテーリング

講師：三条オリエンテーリングクラブ　藤島 由宇

内容：防災ステーション・交流広場にチェックポイントをいくつチェックできるか
　　競ったり、タイムを競ったりしました。

Ⅱ＜魅力あるかわまちづくりワークショップ＞

三条市水防学習館を会場に、国土交通省北陸地方整備局や三条市など関係機関と連携し、小・中・高校生や地元企業、地域コミュニティ、ＮＰＯ等を招き、都市・地域再生等利用区域の指定を受けたことで、このエリアが今後どのような利活用の可能性があるのか模索する産官学民連携ワークショップを開催しました。

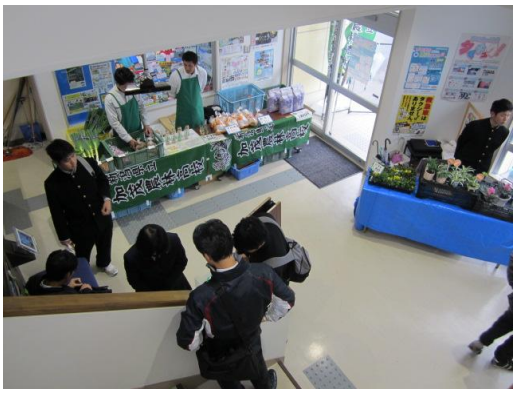
◆かわまち防災まつり

日時：11 月 11 日 11：00～13：30

会場：三条市水防学習館・交流広場

参加者：約 100 名

①防災・減災体験

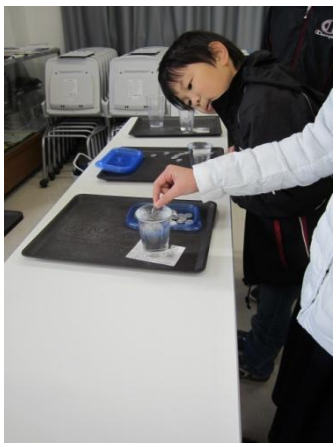


県央地区の高校生の販売の様子

焼きイモ大会

県央地区の高校生の手作り農産物や食品

②水の不思議を体験学習!水リンピック!



③こどもマルシェ

④水防体験

⑤魅力あるかわまちワークショップ

Ⅲ＜水辺とまちのみらい創造フォーラム＞

防災フォーラム・防災サミット

11 月 11 日（土）／ 9：30～10：30 ／参加者 約 200 名

産官学民協働で、三条防災ステーションにて今後の防災やエリア利活用について研究発表を実施。ミズベリング三条に近い燕三条地場産業振興センターを会場に、ミズベリング関係者や平成２９年度のイベント主催者・参加者を招き、今後の利活用について基調講演やパネルディスカッション、研究発表を行いました。

Ⅳ．事業の成果と今後の課題

『ミズベリング三条』利活用プロジェクトの取り組みにより、広く地域社会に向け指定による規制緩和や、このエリアが持っている商業的なポテンシャルをＰＲすることで、民間企業によるこのエリアへの開発参画を促し、地域経済発展に貢献するとともに、民間の資金やノウハウを活用した観光促進を図ることができた。

また、地域コミュニティやＮＰＯ等によるイベントやソフト事業のイメージをＰＲし、市民協働・多職種協働による幅広い利活用を促進する。

事業の継続については、平成２９年度の実験的イベントやソフト事業を通してのアンケートを収集・分析することで、平成３０年度の各種事業の発展に役立てる。